

伊佐次がゆく！

第5期生 伊佐次 志織

「教養がある人とは、“自分”を知っている人のことである。」

この一文は、高校の国語の教科書に載っていた文章のなかで、特に印象に残っている一文である。私は、小野ゼミで過ごす前は、教養がある人とは沢山の物事を知っている人のことではないのかと、疑問に思っていたが、今は、この一文の意味を少しは理解することができるようになったと思う。なぜならば、私は小野ゼミの活動を通して、沢山の物事を知ることに、”自分”を知ることにの方が難しく、沢山の物事を知り、それを踏まえた上で”自分”はどう考えるかが重要であることを実感したからである。

小野ゼミの素晴らしい点は、個性豊かな仲間と共に、“自分たち”はどう考えるかを、真剣に議論することができる点であると思う。小野ゼミに入らなかつたら知り合うことがなかつたであろう、生き方も考え方もそれぞれ異なる仲間がいるからこそ、自分や仲間の長所や短所に新たに気付くことができたり、1人では思いつくことのない新しいアイデアが浮かんだりする。“自分たち”なりの答えを導き出そうとするからこそ、沢山の物事を知ろうとするし、“自分”はどう考えるのかを明確にしようとする。マーケティングに関する知識だけでなく、小野ゼミは沢山の“自分”に関するヒントを私に与えてくれたように思う。

これから、私たち5期生はそれぞれの道を歩き始める。私たちのことを、いつも真剣に考えてくださる、小野先生のような先生に出会えることはもう2度とないと思う。毎週月曜日と木曜日に、約束をしなくても皆で集まって、笑ったり頭を悩ませたりしながら、一緒に学ぶことの出来る日々が、5期生に訪れることはもう2度とないと思う。私にとって小野ゼミは、かけがえのない、とても大切な存在である。小野ゼミに入って良かったと心の底から思う。若干恥ずかしい文章を書いてしまったと思う。



2007年の異分野インゼミ報告会にて（著者は左から2番目）

ありがとう、小野ゼミ。

伊佐次がゆく！ ～続く～